

管理者のための 職場の“労働安全” 対策セミナー

～ 安全活動の9原則を理解し実践的に学ぶ ～

開催日時 **2025年10月 8日(水)** 10:00～17:00 会場 **名古屋** 日本能率協会 中部事務所 研修室
(名古屋市中村区名駅 JRセントラルタワーズ 36F)

対象 • 製造業および非製造業の管理者 • 工場の労働安全管理者・指導者
• 安全教育リーダー、製造現場の管理監督者

講師 **中川 優氏** (株)オフィスグラビティ 代表取締役 一般社団法人日本能率協会 主任講師
参加料(税込) 法人会員：55,000円/1名 会員外：66,000円/1名
※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。

本セミナーのねらい

2024年の労災事故は「休業4日以上」の死傷者数が13万578人と前年比0.6%増でした(厚生労働省)。日本の労災は1970年後半以降長らく減少基調にありましたが2020年に入ると死傷者数が増加に転じています。

その大きな理由は、コロナ禍による現場安全指導の経験不足にあると言われています。職場環境は、高齢化、外国人労働者の増加、DX等による業務の複雑化など変化しており、安全対応がより困難さを増しています。さらに本年6月からの「熱中症対策の義務化」への対応も急務です。

本セミナーでは、管理者(製造業および非製造業)を対象に、労働安全のセオリーである「安全活動の9原則」を理解するとともに、企業事例や画像を使った危険予知演習をとおして、管理者に求められる職場の安全活動を実践的に学びます。

特に重要性が指摘されている「ツール・ボックス・ミーティング(TBM)」については、自社用の「TBMチェックリスト作成」の演習により、有効で具体的な安全対策を作成します。

安全衛生活動の概要(9原則)

安全衛生活動	概要
① 危険予知活動(KYK)	労働災害や事故の原因となる可能性のある不安全行動や不安全状態を「予知」「予測」するための取組で、「危険」のK、「予知」のY、「活動」のKをとってKYKと呼ばれる。
② 5S活動	「整理・整頓・清掃・清潔・躰(しつけ)」の5つのSの頭文字をとった職場管理の基本となる活動。
③ ヒヤリハット報告活動	大事には至らなかったものの、ケガに繋がりがねない「ヒヤリとした」「ハッと気づいた」といった事象をメモにとり、報告・提案することにより、災害防止対策につなげていく活動。
④ 安全衛生パトロール	職場に潜在する危険要因を見つけ出すため、職場内を巡視し、その結果に基づき機械設備や作業方法などの改善を行うことにより、災害の防止を図る。
⑤ 危険の「見える化」	職場の危険を従業員全員で共有するために、だれでもわかるように可視化(=見える化)する。
⑥ ツール・ボックス・ミーティング(TBM)	職場で行う作業開始前の打合せのことで、「ツール・ボックス=道具箱」の近くで行われるため、このように呼ばれる。
⑦ 安全衛生改善提案制度	機械設備や作業方法についての安全上の問題点とその対策を、職場で作業に携わっている作業員等から提案してもらう制度。
⑧ 安全当番制度	作業員全員を交代で、安全当番・安全日直・安全選番などに任命し、作業員一人ひとりの安全に対する自覚を促す。
⑨ リスクアセスメント	職場における労働災害や健康障害が発生する危険の度合いを「リスク」としてとらえ、その大きさを見積もり評価して、労働災害・健康障害防止対策の優先順位を定める取組。

■ プログラム

10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

1 コロナ後の職場の安全衛生の変化

- 労災事故増加の原因と職場の変化
- 安全衛生活動の基礎

2 事故発生の原因を知る

- 「不安全行動」と「不安全状態」
- 日本が欧米より労災事故が多い理由とは

3 自社の「不安全行動」「不安全状態」を特定する **個人演習**

- 職場に潜む「労災の原因」を自分の言葉で明確にする

4 安全活動9原則の理解と使い方の秘訣

- 危険予知活動(KYK)
- ツール・ボックス・ミーティング(TBM)
- 5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)活動
- ヒヤリハット報告活動

- 安全衛生改善提案制度
- 安全当番制度
- リスクアセスメント
- 危険の「見える化」
- 安全衛生パトロール

5 現場の危険予知 **個人演習**

- 画像を見て現場の危険を考える

6 安全対策の事例

- 設備の誤作動防止対策
- 構内運搬時の対策
- 熱中症対策
- AIなどによる安全監視
- 高所作業の転倒防止策

7 有効で具体的な安全対策を作成する **グループ討議**

- 効果的な「ツール・ボックス・ミーティング(TBM)」実施のための自社用の「TBMチェックリスト」を作成する
- 個人検討 • グループ討議 • 発表 • 講師のフィードバック

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

